

2010年6月26日

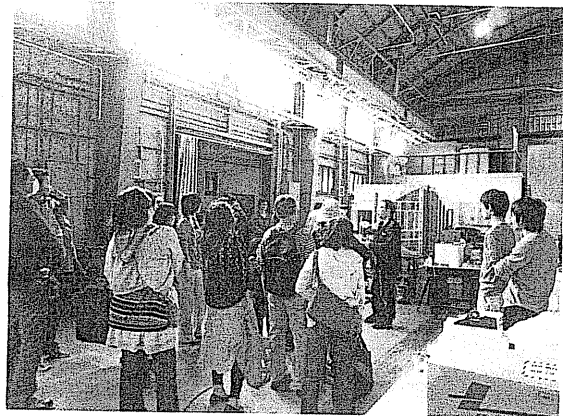
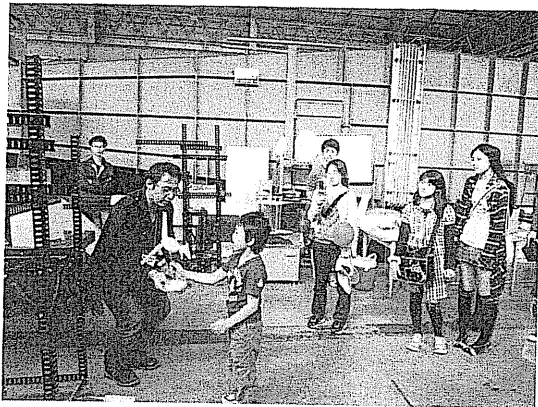
日本機械学会北海道学生会「メカライフの世界展」報告

北海道大学 坪倉 誠

概要

本年度の北海道学生会「メカライフの世界展」は、6月5日（土）に北海道大学で実施された工学祭2010と共催で実施しました。当日は大学祭（北大祭）が実施されていたこともあり、小中学生を含む多数の市民に参加頂くことができました。北大鳥人間研究会、北大フォーミュラチーム、宇宙環境システム工学研究室、流動場システム工学研究室等の協力で各種の展示を実施しました。流動場システム研究室主催で講義形式で実施した「実験教室、風洞で風を感じてみよう」では総勢150名を超える来客がありました。

会場の様子とホームページへの掲示



流動場システム工学研究室（風洞見学）

「メカライフの世界」展

テーマ名「ものづくり実験工房—機械を体感してみよう—」

○2010年10月23日、24日

○釧路工業高等専門学校／機械工学科

○企画実施に参加した学生数：114名

○来場者総数：約600名

釧路工業高等専門学校において「ものづくり実験工房—機械を体感してみよう—」をテーマにして高専祭開催期間中の2010年10月23日、24日に「メカライフの世界」展を実施いたしました。本企画では、「ヘルスマonitoring装置の体験」、「振動を利用した玩具の製作」、「消しゴムの製作」、「機械要素ペーパークラフトの製作」、「高速度カメラを用いた様々な流体现象の計測」、「空き缶スターリングエンジンの製作」などを体験してもらいました。また、「本校機械工学科5年生が製作した卒業研究中間発表用のポスター」や各研究室ごとの展示、実習工場の開放を行い、来場者に見学をしてもらいました。会場には多数の本校学生、中学生、保護者などが訪れ、実施している本校学生および見学者ともに活気あふれる様子でした。

様々な「(機械)ものづくり」を体験・見学してもらうことで、参加学生、一般来場者ともに機械工学のについて理解を深めることができ、次世代を担う機械系技術者の育成を行うことができたと思います。

